

市の戦略周知活動

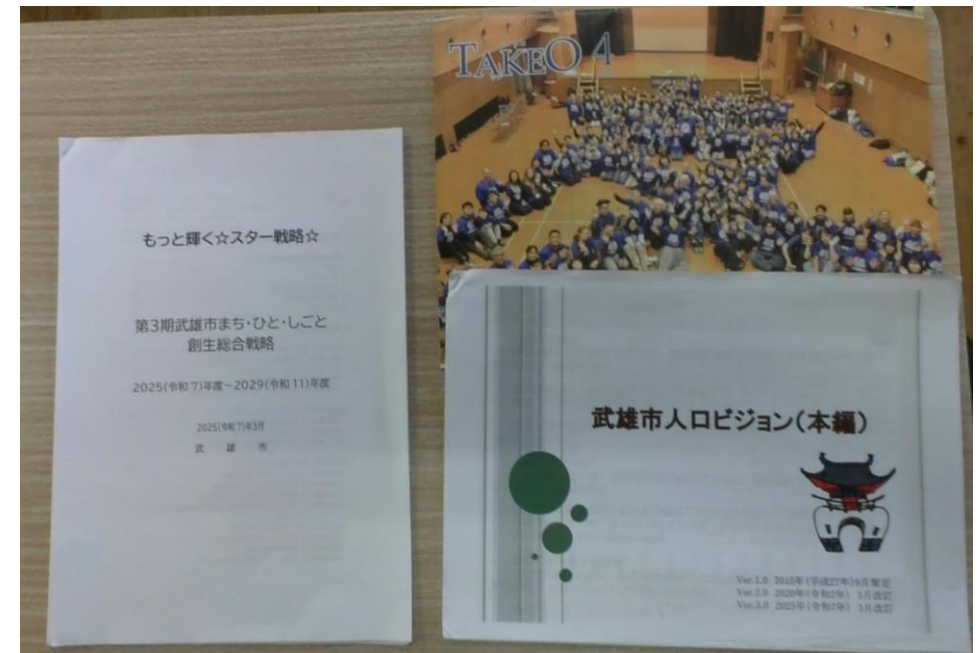


スター戦略って何だろう？

①「もっと輝く☆スター戦略☆」などの
資料を基に内容の理解を深めた

活動内容

5回の授業にわたって資料を読んだ

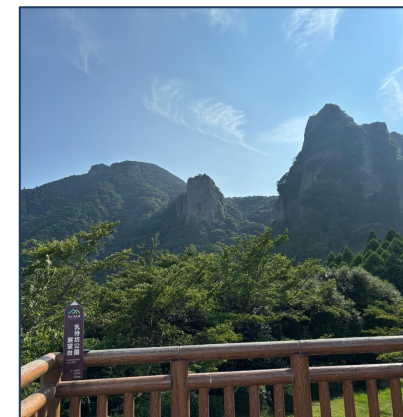


② 「市役所の方々と武雄巡り」

武雄市の魅力と課題、そして町づくりの新たな取り組みを見聞きして学んだ

活動内容

巡った場所…水害跡地、水害対策設備、
ふれあいの場を増やす目的のカフェ、
武雄市の自然観光地

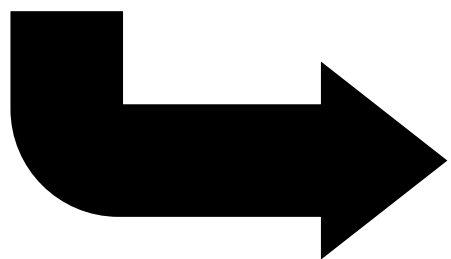


気づき・苦労したこと

- ・スター戦略をもとに市役所やまちの人々によって、町が
活性化されていることに気づいた
- ・スター戦略の知名度が低かった
 - ➡専門用語が多すぎて、内容がわかりづらかった
- ・グループのみんながスター戦略の内容を理解するのに
時間がかかった

気づきのまとめ

- ・市には災害や少子高齢化などのたくさんの課題があり、まだあまり知られていないことがある
- ・この課題を解決するために市の人たちが様々なことを計画、実行している



スター戦略

もっと知ってほしい

今の本編の課題

- ・ 文字が多い
- ・ 言葉が難しい
- ・ 文字ばかり
- ・ 見ていて飽きる
- ・ どこでスター戦略があるのかが分かりにくい

今の課題をふまえ…

読もうと思ってもらえる

簡単に理解してもらえる

どこでも見れる

武雄市の政策に興味をもってもらえる

6 武雄市の
スター戦略って何だろう？

それは、武雄市のまちづくりの
基本計画のことだね
簡単にまとめたので中を開いてね

武雄市・武雄高校
まちづくり参画事業



概要版はこちらから



本編はこちらから



第3期武雄市
まち・ひと・しごと創生総合戦略
もっと輝く
☆スター戦略☆

市民ひとりひとりが
幸せに暮らせるまち

安心して暮らせるまち

治水対策や都市整備に取
組み、安心して暮らせる福祉
のまちづくりを進めます。



守る

成長を支えるまち

すべての人が学び、文化
を身近に感じれる環境を
つくります。



育む

働きがいのあるまち

企業誘致を推進し、女性
や若者から選ばれる就業
機会を創ります。



稼ぐ

交流しにぎわうまち

西九州のハブ都市として、
新たな価値を創造し発展
するまちをつくらします。



彩る

未来へ続くまち

地域の絆で支え合い、未
来の世代により良いまちを
つないでいきます。



つなぐ

チーム全体としての変化

- ・ 意見を出し合い、それについて議論できるようになった
- ・ 市役所の仕事や、それが町の発展にどのようにつながっているのかを学んだ
- ・ 地域をより良くすることで、そこに暮らす人々の笑顔を守りたいという思いを抱くようになった



市への提案①

- ・文字の大きさを変える
- ・文字に色を付ける
- ・イラスト、写真をいれる
- ・要約したり、用語の説明などをいれる

重要業績評価指標(KPI)

公有地を活用した
雨水貯留対策量

地域防災リーダー数

具体的施策(1) 災害に強いまちづくり(重点プロジェクト)

市民の命を守ることを最優先として、高齢者や障がい者など配慮が必要な方々が安心して避難できる環境整備や、やさしい日本語版ハザードマップの運用等、あらゆる市民に対応した防災対策を強化するとともに、市民一人一人が自らの命を守る「自助」の意識を高めるための支援を行う。また、地域全体で助け合う「共助」の取り組みを促進し、地域全体の防災力向上を図る。

大雨による床上浸水ゼロを目指し、河川の整備や排水機能の強化など、関係機関と連携した流域全体での治水対策を着実に進めるとともに、山間部の土砂災害対策を進めるなど、水と共に生きるまちづくりを推進する。

さらに、災害時に活動する消防団員が迅速かつ的確に活動できる体制を整える。

重要業績評価指標(KPI)	基準	目標
公有地を活用した 雨水貯留対策量	—	8,000 m ³ (R7~11 年度累計)
地域防災リーダー数	66人(R6年度)	91人(R11年度)

具体的事業

- ・遊水公園整備事業
 - ・防災情報発信事業
 - ・避難行動要支援者事業
 - ・耐震診断、改修事業
 - ・急傾斜地等崩壊防止事業
 - ・農村地域防災減災事業
 - ・消防団運営事業
 - ・校庭、公園貯留整備事業
 - ・地域防災力向上事業
 - ・水に強い住まいづくり支援事業
 - ・災害復旧事業
 - ・防災備蓄事業
 - ・避難所等運営整備事業
- 等

市への提案②

・ほかの市の戦略を参考にする

横浜市中期計画

政策1

切れ目なく力強い子育て支援（妊娠・出産期・乳幼児期）

政策の目標

希望する人が安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりが進んでいます。
「横浜市版子育て世代包括支援センター」を基盤として、妊娠期からの切れ目のない支援を充実させるとともに、若い世代に対して、これから迎える妊娠・出産・子育てに関する普及啓発が進み、全ての子育て家庭及び妊産婦が心身ともに健康に過ごすことができます。また、出産費用や子どもの医療費などの妊娠・出産・子育てに関する家庭の経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境づくりが進んでいます。

全ての子どもが健やかに育つよう、乳幼児の心身の発育・発達等の確認及び適切な指導を行うことで、乳幼児の健康が保持・増進されています。

地域における子育て支援の場や機会の拡充、子育てに関する情報提供・相談対応の充実などにより、地域ぐるみで子育てを温かく見守る環境づくりが進んでいます。

政策指標

子育て環境が整っていることを理由に、横浜に住み続けたいと考える子育て世帯等の割合

直近の現状値	目標値
14.1%	20.0%

子どもの育てにくさを感じている保護者のうち、解決方法を知っている方の割合

直近の現状値	目標値
80.1%	83.0%

関係するSDGsの取組



現状と課題

- 少子化や地域のつながりの希薄化により、「自分の子どもが産まれる前に赤ちゃんの世話をした経験」がない人が約75%と、子どもを生み育てるイメージを持ちにくくなっています。若い世代が、主体的に自らのライフプランを選択できるよう、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及啓発を行うことが求められています。
- 出産年齢が上昇することで、不妊に悩む方の増加や、妊娠・出産に伴う合併症などのリスクが高まるとともに、産後の母の心身の不調や育児の負担感に影響を与えています。産後うつなど、心身に不安を抱える妊産婦の早期把握と、妊娠期からの適切な支援が求められています。
- 3歳児の保護者のうち、約30%が育てにくさを感じており、保護者が悩みを一人で抱えることなく育児ができるよう、個々の状況に応じた支援が求められています。日常的に感じる疑問や困り事を、気軽に相談し解決できる身近な場所を充実させるとともに、多くの人が子育て家庭に心を寄せ、温かく見守る環境づくりが必要です。
- 全ての子育て家庭及び妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、相談支援や経済的支援など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の更なる充実が必要です。

自分の子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験



【出典】横浜子ども子育て支援事業計画

子の育てにくさを感じると回答した保護者の割合



【出典】横浜子ども子育て支援事業計画

市への提案③

- ・ 武雄市のホームページのわかりやすいところにリンクを置く

[ホーム](#) > [市からのお知らせ](#) > [2025年](#) > [04月](#) > 第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました



武雄市役所がお届けする
たけおポータル

注意報・警報

大雨 雷 洪水 強風

緊急情報

【一覧】
▶ 10月31日 12:34 運転を見直しませんか？武雄開催

 トップ

 防災・緊急

 くらしの情報

 事業者向け

 市長の部屋

 武雄市議会

武雄市
市制施行20周年
記念事業
～つなごう武雄の歩みと未来～

20th
Anniversary
TAKEO

パブリックコメント

武雄市公式
スーパーアプリ
3月26日 リリース！

たけお
デジタルマップ
TAKEO CITY

武雄市地域通貨アプリ
たけおPay

武雄
トピックス

市から
のお知らせ

官公庁等
のお知らせ

まちの話題

公民館の
お知らせ

▶ 新文化交流施設建設に伴う利用範囲制限のお知らせ...

▶ 学校教育ビジョンを策定しました...

▶ 令和7年度武雄市職員採用試験最終合格者...

▶ 武雄市の新しいデジタルサービスが登場！...

▶ 「水に強い住まいづくり支援事業補助金」の活用を検討されている...

▶ 市役所だよりを更新しました（10月27日号）...

▶ 九州オルレフェア 武雄コース「クリスマスオルレ」参加者募集...

▶ 令和7年度第5回インターネット公売実施中！...

TAKEO 11月号
広報武雄

たけお子育て情報サイト
子育てするなら
たけお
© People Co., Ltd. 2022

武雄市議会

ご清聴ありがとうございました

